

宇城市のコンテナ収集移行計画(案)

年	三角町	不知火町	小川町・豊野町
H17	底江、馬場、前越、上内、中内、塩屋東、塩屋西、宮崎、浦、黒崎、東港5区		(豊野は平成16年4月からびん類のみコンテナ収集開始済み)
H18	大岳地区……3カ所 郡浦地区……5カ所 戸馳地区……3カ所 三角地区……4カ所 みなと地区……4カ所	不知火地区…7カ所 松合地区……3カ所	
H19	大岳地区……3カ所 郡浦地区……4カ所 戸馳地区……4カ所 三角地区……3カ所 みなと地区……6カ所	不知火地区…24カ所 松合地区……9カ所	全地区
H20	郡浦地区……3カ所 戸馳地区……1カ所 三角地区……2カ所 みなと地区……2カ所		



7月26日、宮崎地区で行われた分別収集の様子

「ごみ袋」がまた「ごみ」に？

現在、ごみ袋による分別収集を行っている地区の家庭では、ごみの種別ごとに色分けされた市指定のごみ袋を購入し、分別してごみ袋ごと搬出しています。

一方、コンテナ収集実施地区の家庭では、収集場所にごみの品目(松橋町では19品目)ごとに用意されたコンテナにごみを出しています。

つまり、前者はごみ袋を購入しなければならず、また「ごみ」を出すための「ごみ袋」がさらにごみとなってしまうというのです。

このような状況を踏まえ、宇城市では、早急にコンテナによる分別収集への移行準備を進めています。

コンテナによる分別収集のこれから

平成20年までに市内全域実施を目指す

モデル地区の反応は？

宇城市内のコンテナによる分別収集は、松橋町では全地区が実施されていますが、他の4町は平成20年の市内全域の完全実施を目指し、準備を進めているところです。

三角町の宮崎地区では、

今年1月からモデル地区としてコンテナ収集をスタートし、9カ月が経過しています。

コンテナ収集について同地区の田端憲治区長は、「5月から各班の班長に交代で出てもらっています。ごみ分別に対して地区民が自主的になったようです」と話しています。

同地区のコンテナ収集日にお邪魔し、地区の皆さんのお話をうかがいました。



大久保みどりさん

ごみに対する意識が変わりました。家庭でのごみ減量の取り組みは、料理などではできるだけプラスチックの食品保存容器を活用しています。職場でもごみの減量に心掛け、ごみを出さない工夫をしています。



崎村光久さん

ごみ袋を買いにいかなくてよかったので楽です。また、新聞はひもでくくって出していました。その必要もなくなり、時間的にも余裕ができました。こんなことなら早くから取り組んでいればよかったのではないかと思います。



平野貴久さん

ごみの減量化に効果があるのかは分かりませんが、いいことだと思います。面倒だと思ったことはありません。ごみ問題については、ポイ捨てしないよう心掛けています。

収集日の朝の天気が一番心配

三角町宮崎地区衛生組長
道越勝己さん

今まで袋による収集でしたが、コンテナにしてより区民のごみに対する意識が高まり、各家庭でもよくなったという話を聞きます。

コンテナ収集を始めてすぐはごみが大量に出ていました。家の隅に眠っていたごみがたくさんあった証拠でしょう。



地区内では、行楽シーズンも手伝ってか、道沿いに弁当がらやジュース缶がまとめて捨ててあります。ごみが一つあれば、またそこに捨てる傾向にあります。自分で出す意識があればごみも減るのですが。

これからコンテナ回収を実施しようとする地区へ一言。ごみへの意識の持ち方が変わるので、早めに取り組みればポイ捨てなども減り、地区内もきれいになるのではないのでしょうか。

また、ごみを出す立場と監視する立場では、意識の持ち方が全然違います。監視する立場をやってみて初めて意識も高まると思います。監視の当番は必ず交代で行ってほしいです。

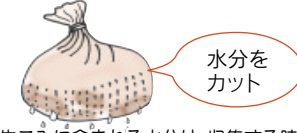
ごみ減量にコンテナ回収はとても効果的だと思います。

6 スプレー缶は、必ず穴を空けてから出す



スプレー缶は、ごみとして出す前に必ず穴を空け、中の気体を抜いてから出しましょう。収集車の火災の原因になります。

5 生ごみはひと絞りにして水分をカット



生ごみに含まれる水分は、収集する時に重くて負担がかかるだけでなく、焼却時の燃焼も妨げてしまいます。ごみ袋に入れる前に、ひと絞りにして、余分な水分を切っておきましょう。

4 資源になる鉄製の箱やびん、缶の中身は全部取り除いてください。

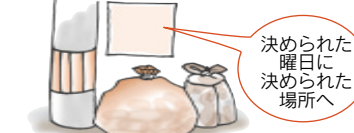


3 可燃ごみ(赤袋)は収集日当日に出す



収集日前日の夜などに出すと、放火されたり、ガラスやネコに散らかされたりします。必ず収集日当日に出しましょう。

2 決められた場所や曜日を守る



決まりを守らない人がいると、収集場所の近隣の人に迷惑が掛かります。収集場所はごみ捨て場ではありません。

1 きちんと分別する



燃える物と燃えない物を混ぜて出したり、資源回収している物を他のごみと混ぜて出したりしないようにしましょう。

みんなで守ろう
ごみ出しマナー